

**授業概要**

様々な心理学の先行研究を参考に、研究すべき仮説を自ら考え、それを検証するための調査を実施し、その結果を報告する方法を学ぶ。本授業では、心理学で用いられる調査研究の理論と手法を座学と実践を交えて総合的に講義する。授業の前半は履修者を小班に分け、班ごと仮説を構築し仮説にあった心理尺度を自作する。後半は、実際のデータを用いて自分たちが立てた仮説の検証を統計的手法を用いて行う。授業全体を通して、調査研究法について多角的に捉えられるよう講義する。

**授業計画**

第 1 回	オリエンテーション（授業の進め方、履修上の注意、班分け）
第 2 回	研究の「仮説」とは何か（独立変数・従属変数・相関関係・因果関係）
第 3 回	仮説の導出
第 4 回	構成概念と操作的定義
第 5 回	質問項目の作成（ブレインストーミング）
第 6 回	質問項目のワーディングの検討
第 7 回	質問項目の妥当性の検討
第 8 回	質問紙票の作成
第 9 回	調査の実施・データコーディング①
第 10 回	調査データの整理（データコーディング②・欠損値・変数の合成）
第 11 回	調査データの集計（データクリーニング・記述統計量・クロス集計）
第 12 回	調査データの解析①（相関・t検定）
第 13 回	調査データの解析②（相関・t検定）
第 14 回	調査結果の報告方法①（論文の構成と記載方法）
第 15 回	調査結果の報告方法②（論文の作成）
第 16 回	まとめ：レポートの提出

**到達目標**

- 心理学で用いられる調査研究について説明できる。
- 調査法を用いた仮説検証型研究についての背景にある論理の理解ができる。
- 心理尺度を適切に利用、作成ができる。
- 仮説に基づいた分析と報告ができる。

**履修上の注意**

- 本科目ではグループワークを実施する。
- 作業が終わらない場合は授業が出の活動が必須となる。そのつもりで履修すること。
- 遅刻および欠席は最終評定から減点する。
- データ解析にあたってはエクセルの関数を使用するので準備しておくこと。

**予習・復習**

- 配布資料の復習は必ず行うこと。
- 授業計画に出てくる用語でわからないことは調べて理解しておくこと。

**評価方法**

- 期末レポート 50%、調査票の出来栄え 50% で評価する。

**テキスト**

- テキストは使用しない。適宜パワーポイントの資料を配布する。